

## 香川県地域通訳案内士育成等計画

### 1 地域通訳案内士育成等計画の作成主体

香川県

### 2 地域通訳案内士の名称

香川せとうち地域通訳案内士

### 3 区域

香川県の全域

### 4 地域通訳案内士制度を導入する経緯

高松空港は、ソウル、上海、台北、香港の間で国際定期便も就航しており、その就航先からの旅行者を中心に、四国の玄関としての機能を有している。本県においても国際定期便の就航先からの訪日外国人旅行者が年々増加している。

【外国人延べ宿泊者数(観光庁宿泊旅行統計(従業者数 10 人以上の施設))】

【人泊】

	H25	H26	H27	H28	前年度比(%)	H29	前年度比(%)
香川	81,350	123,570	168,750	254,430	151	384,500	151
台湾	31,910	47,120	61,090	67,470	110	104,120	154
香港	3,380	9,580	18,210	30,870	170	56,040	182
中国	5,440	6,600	16,350	38,870	238	65,580	238
韓国	9,290	25,700	32,910	27,180	83	50,210	185

※H25-H28：確定値、H29：速報値

#### ・ 地域通訳案内士導入の目的

香川県内の全国通訳案内士の登録者数は 89 人(平成 30 年 2 月 28 日時点)と少ない。また、香川県への訪日外国人旅行者が最も多い東アジア(中国・台湾・香港・韓国)の言語に対応する全国通訳案内士の数が不足しており、訪日外国人旅行者が求める香川県に関する新しい詳細な情報が十分に提供できていない状況にある。加えて、訪日外国人旅行者の FIT 化や旅行先で求めることのニーズが多様化する中で、訪日外国人旅行者のきめ細やかな受入環境を整備していくことは喫緊の課題となっている。

このため、本県では地域通訳案内士制度を導入し、香川県内において十分な通訳ガイドができる人材を確保することで、外国人旅行者の満足度を向上させ、さらに多くの外国人旅行者に本県を訪れていただき、雇用の創出や地域経済の活性化につなげる。

### 5 外国語

英語、中国語、韓国語

なお、研修は上記言語のうち、実施年度ごとに 2 つの言語について実施することとし、実施言語は香川県を訪れる外国人や通訳ガイドの実情等を考慮して、研修実施の都度、決定する。

## 6 研修実施に係る事項

### (1) 求めるべき外国語能力

語学力については、研修受講の応募時点から過去5年以内に次表の資格を有していること。

言語	条件
英語	TOEIC730点以上 実用英語技能検定準1級以上
中国語	中国語検定2級以上 HSK試験5級以上
韓国語	「ハングル」能力検定2級以上 TOPIK試験5級以上

ただし、母国語が英語、中国語、韓国語の者については研修受講の応募時点から過去5年以内に日本語能力検定N2級以上の資格を有していることとする。

### (2) 実施する研修内容等

#### ①研修概要

研修項目	研修内容（概要）	研修時間	想定する講師
オリエンテーション	・概要説明 ・香川県のインバウンドの現状と観光施策	1時間	香川県担当者
コミュニケーション	・接客応対の基本 ・外国人ごとの生活文化への対応	1.5時間	インバウンドに関連する事業に従事している者
香川県の地理・歴史・文化、魅力	・香川県の地理、歴史、文化、観光名所、特産品等に関する知識	4.5時間 (1.5時間×3コマ)	地元有識者
旅程管理	・香川県の交通事情、交通手段 ・旅程管理の実務（旅行者の移動等） ・危機管理と事前調査（安全対策・災害対応等）	3時間 (1.5時間×2コマ)	地元公共交通機関に従事している者
救急救命	・AEDの取り扱い ・応急手当の知識・技術	3時間 (1.5時間×2コマ)	日本赤十字社 消防署職員
観光語学	・日本文化の外国語表現（精神、建築、美術、食） ・寺社、仏閣等の外国語表現	3時間 (1.5時間×2コマ)	現役のベテラン 全国通訳案内士
現場実習	・高松エリア、瀬戸内エリア、 琴平エリア 他	28時間	

#### ②研修内容

##### ○オリエンテーション(研修時間：1時間)

研修の概要及び香川県のインバウンドの現状や観光施策についての説明を行う。

##### ○コミュニケーション(研修時間：1.5時間)

外国人旅行者の特徴、習慣、マナー等に関する知識、外国人旅行者を受け入れる際の注

意点等を説明する。

○香川県の地理・歴史・文化、魅力(研修時間：4.5時間)

香川県の地理、歴史、文化、観光名所、特産品等の観光資源の魅力を外国人旅行者にしっかりと伝えるとともに、満足度を向上させるための知識を習得させるものとする。

○旅程管理(研修時間：3時間)

香川県の交通事情の説明を行う。

講師は、観光庁長官の登録を受けた機関が実施する国内旅程管理研修の修了を資格要件とする。旅行者の移動の円滑化に関する知識、安全対策及び事故発生時の対応、事前調査、災害対応等に関する事務処理能力等を習得させるものとする。

○救急救命(研修時間：3時間)

救急救命についての「基礎講習」や「普通救命講習」を受講させることで、AEDの取扱いや救急救命手当の知識、技術を習得させるものとする。

なお、過去3年間において日本赤十字、消防署等が実施する「基礎講習」、「普通救命講習」の修了者は「救急救命」を免除する。また、研修終了までに、本研修以外の場で独自に受講することを認める。

○観光語学(研修時間：3時間)

ゼネラルトピックとして重要な日本文化の表現（精神、建築、美術、食）と、香川県の観光において重要な寺社、仏閣等の外国語表現を習得させるものとする。

○現場実習(研修時間：28時間)

バス等で県内の観光地を回りながら模擬ツアーを実施することにより、通訳ガイドを行う際の知識・技術等を習得させるものとする。

③ 効果測定の実施方法

研修カリキュラムの全日程を受講した者に対して、1人当たり10分程度の面接方式による効果測定を実施する。

審査員は全国通訳案内士有資格者等が務め、研修の理解度を測るほか、外国語によるスピーキングスキル、プレゼンテーション能力についても審査する。

効果測定の結果、香川せとうち地域通訳案内士として求める能力を満たしていると認められるときは、香川県が認定証を発行し、当該者の研修修了を認めるものとする。

④ 実施時期 実施スケジュール(案)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
制度・研修の周知												
受講生募集					登録対象者発表							
研修実施												
登録対象者発表・登録												登録

7 地域通訳案内士登録簿を備える一の自治体又は都道府県

香川県の窓口において地域通訳案内士登録簿を閲覧に供する。

8 地域通訳案内士育成事業の安定性の確保について

地域通訳案内士を養成・確保するために、定量的な目標値を定め当該目標を目指して地域通訳案内士を養成する。

(定量目標：地域通訳案内士数)

	単位	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年
地域通訳案内士育成人数	人	40	40	40

9 地域通訳案内士の活躍の支援について

香川県及び香川県観光協会のホームページや窓口において地域通訳案内士制度について周知する。併せて、県内各観光協会、旅行代理店、メディア等に対する情報提供を行い、地域通訳案内士の活用を促進する。